

健康経営と栄養改善ビジネスの展開に向けて」セミナー アンケート結果

数字：人数(%)

【参加者数】 96

【回答者数】 55(57.3：前回+7.3)

1. 業種をお知らせ下さい。

- ・ 食品製造業 18(32.7)
- ・ サービス業 7(12.7)
- ・ 政府関係機関(地方自治体も含む) 6(10.9)
- ・ コンサルタント 4(7.3)
- ・ NGO/NPO 2(3.6)
- ・ 農林水産業 2(3.6)
- ・ 社団法人/財団法人 2(3.6)
- ・ 教育・研究機関 1(1.8)
- ・ その他 13(23.6)

[給食事業(企業、学校・保育園など)：3、医薬品・食料品の製造/販売：1、小売：1、報道：1、乳飲料処理設備コンサルタント：1、総合人材サービス業：1、評価機関：1、化粧品製造販売：1、協同組合連合会：1]

2. 今回のセミナー開催をどのようにお知りになりましたか。

- ・ 知人の紹介 16(29.1)
- ・ NJPPP：メルマガ 15(27.3)
- ・ 食品産業センター：メルマガ 8(14.5)
- ・ NJPPP：ウェブサイト 6(10.9)
- ・ JICA：ウェブサイト 5(9.1)
- ・ 食品産業センター：ウェブサイト 3(5.5)
- ・ ちらし(案内) 2(3.6)
- ・ NJPPP：Facebook 1(1.8)
- ・ 新聞広告 1(1.8)
- ・ その他 6(10.9)

[健康経営のキーワード検索：2、マーガリン工業会からの配信：1、他部署から情報共有：1、食品産業センターからのメール：1]

3. 本セミナーに参加した目的/理由をお選び下さい。

- ・ 情報収集のため 47(85.5)
- ・ 興味のある内容だったから 24(43.6)
- ・ ビジネス展開を考えているため 10(18.2)
- ・ ネットワークづくり 3(5.5)
- ・ NJPPP会員だから 3(5.5)

4.

4.1 セミナー内容について、適当な項目をお選びください。

・ 大変満足：20(36.4)

- ✓ 今後、弊社の不足分をどのような形でご協力をして頂けるかを考えたいと思う。
- ✓ 各方面の方々から、今後の新規事業への取り組みにあたり、大変参考になった。
- ✓ 部分的にはあれどどのような取り組みが行われているかを知ることができた(勉強になった)。
- ✓ 各企業の「健康経営」の取り組みを知ることができ、「健康経営」が具体的なイメージとして理解できた。
- ✓ 新アイテムのヒントになった。
- ✓ 他社の事例がわかりやすく、当社での取組に取り入れられそうな内容だったから。
- ✓ 知りたい内容に近かったから。
- ✓ 栄養改善というテーマだけで議論されており、非常に勉強になる内容だった。
- ✓ 栄養改善ビジネスの全体の進捗状況と、学会との関係、企業の事例などが分かった。
- ✓ 健康経営に関して実際の実践内容を知ることが出来た。

・ やや満足：31(56.4)

- ✓ マイクの音が聞き取りづらかった。
- ✓ 健康寿命を延ばすための企業努力が投資活動や企業経営まで深く関わるようなことが求められていることを認識できた。
- ✓ 食の観点から「健康経営」の取り組みの概要がわかりためになった。

- ✓ 「健康経営」や「スマートミール」について新たな知見ができた。
- ✓ 様々な情報収集はできたが、健康経営に関する世の中の方向性を把握したかったので、もう少し健康経営に取り組んでいる具体例を聞きたかった。
- ✓ パネリストごとに具体的な内容を伺えたから。
- ✓ シダックスの方の資料も欲しかった。
- ✓ 声がマイクを全く通っておらず、真ん中ぐらいだったが半分以上聞こえなかった。運営側でのサポートが欲しかった。
- ✓ 国、企業等の健康経営についての方向性が拝聴できたから。
- ✓ 「健康経営」「SDGs」に関心があり参加したが、「食」がメインであったので少し違和感があった。
- ✓ 海外展開からの視点での話題をもう少し期待していた。
- ✓ 海外のお話が少なく、予想とは異なったため、「やや満足」。
- ✓ スクリーンがもう少し大きく、高い位置に欲しかった。
- ✓ どの様なことかも良く判らなかつたので、先ずは入門編として受講した。

・ やや不満足：4(7.3)

- ✓ 期待していた内容と異なっていた。
- ✓ マイクの音が小さく聞こえなかった。
- ✓ 健康経営のスキームのビジネス、事業展開について情報収集を期待していたが、その点についての紹介が少なく、健康経営の効果、取組方法は省庁を中心としたセミナー等でほぼ紹介されている内容であった。健康経営であれば、社内の健康経営の改善スキームをどのように社会課題解決に活用していくと良いのか、という視点について講演頂きたかった。
- ✓ まさにビジネス主流で、栄養学を本当に認識しているのか、会場の雰囲気から倫理観を感じられなかった。

4.2 セミナーの開催時期(2月)について、適当な項目をお選びください。

・ 良い：41(74.5)

- ✓ 午後昼明けで参加しやすかった。
- ✓ 年度末に考える機会になるから。
- ✓ 2ヶ月に1回程度の開催を希望。
- ✓ 弊社は12月決算なので年度始めにあたり今後のことを見据えて検討できる時期であるから。
- ✓ 開催日に予定があるかどうかで参加できるかどうか決まるので開催時期はいつでも構わないが、認証制度の結果を聞いたのでよかった。
- ✓ 業務がつまってないので参加できる。
- ✓ 比較的時間の取れる時期なので良い。
- ✓ 特に問題はないので。
- ✓ 3月は忙しい為に2月の方がありがたい。
- ✓ 来期の戦略を固める上で良い時期だった。

・ どちらともいえない：14(25.5)

- ✓ 新規ビジネスに関係するようなテーマは、上半期のほうがありがたい。
- ✓ いつでも良いと思う。
- ✓ 優先順位の問題。
- ✓ 自分の都合さえつけば特に問題なく参加できる。

4.3 セミナー時間の長さについて、適当な項目をお選びください。

・ 長い：8(14.5)

- ✓ 全体で2時間程度が適当。
- ✓ 2時間程度がちょうど良い。

・ 短い：2(3.6)

- ✓ 総じて早口になってしまっていて残念。

・ 丁度良い：45(81.8)

- ✓ 長くもなく短くもなかった。
- ✓ 適当と感じた。
- ✓ 午後なので外出し易い。
- ✓ 休憩もあり良かった。
- ✓ 一講演あたりの時間が少し短いかなと思われる。
- ✓ 地方から参加する場合、同じ3時間であれば1時~4時くらいが有難い。場所にもよりますが、行きは良いが、帰りがラッシュ時間になってしまうため。

- ✓ 各登壇者の内容と時間から丁度よいと思う。
- ✓ 長いとも思いましたが内容が充実しておりましたからいいと思う。

5.

5.1 「健康経営」が変えるヘルスケアコミュニケーション ～「健康な食事」から考える途上国支援の新しい形～について、適当な項目をお選びください。

・ とても役に立った：21(38.2)

- ✓ 未来地図が非常に明確になった。
- ✓ SDGs のその先の社会を目指す必要を感じたから。
- ✓ 健全な経営について知見を得た。
- ✓ 農林水産省の方のお話を聞くことが新鮮だった。
- ✓ 説明がとてもわかり易く、また、政府として進めていく政策について聞いたことで、社内で推進していく上で説得力が増す内容であった。
- ✓ 現在弊社がミャンマーで事業をしている為に参考になった。
- ✓ 健康経営における食環境の整備について、非常に参考となった。
- ✓ B=MAT の原則、参考になった。
- ✓ 健康経営の解説に加えて、ESG、PRI、健康日本 21、SDGs、Society5.0、といった国際社会のトレンドや日本政府の目指す方向性との関連について整理して示していただけたため。
- ✓ 健康経営における経済的メリットおよびマクロ的見解が非常に勉強になった。

・ まあまあ役に立った：30(54.5)

- ✓ 「健康経営」「SDGs」に関心があり参加したが、「食」がメインであったので少し違和感があった。
- ✓ 健康は今後の食品開発にあたっては欠かすことのできないキーワードであるが、その商品を扱うにあたっては企業姿勢として従業員の健康も考える必要があることを認識した。
- ✓ 新たな企業の取り組みとして新鮮であった。
- ✓ 自分が所属する組織内での理解が醸成されていない。SDGs すら理解度が低いし、自社・他社の健康経営に関しても意識が低いと思う。そういう意味では、個人的には非常に興味深かったが、組織として取り組むには経営者への理解促進が欠かせない。
- ✓ 海外のお話が少なかったため。
- ✓ 弊組合事業及び会員企業の活動に関連することについて想起することができた。
- ✓ 自分がベトナムにいた当時の様子を思い浮かべながら、途上国支援の現状が理解できた。
- ✓ 途上国支援に対して具体的にどのような支援ができるのか、途上国側の事情を鑑みてさらに協議できればと思った。たとえば、「投資」という観点から「健康経営」を考えた場合、途上国ではそのシステムが構築されていないためインセンティブが働きにくく、それに代わるインセンティブとは何か。投資という形がない場合でも生産性が上がる、といった目に見える効果が途上国で実際に出ているのかをもっと Case Study をしていくとよいと思った。
- ✓ 途上国支援については、期待していたほどの情報が得られなかった。
- ✓ 海外展開については法制度、ノウハウも含めた制約がある中、どう進めていけばいいのか良く分からなかった（そこをどうするのか考えていく必要があると理解している）。

・ あまり役に立たなかった：4(7.3)

- ✓ 内容が飛びすぎていて、もう少し絞った内容が良かった。カンボジアの話は興味深かった。
- ✓ 期待していた内容と異なっていた（途上国支援に繋げるための情報をもっと欲しかった）。

5.2 「健康経営における食環境整備の必要性をふまえたスマートミールの取組み」について、適当な項目をお選びください。

・ とても役に立った：26(47.3)

- ✓ 英国での塩分摂取低減方法が参考になった。
- ✓ お恥ずかしい話ですが初めて知った。
- ✓ 我がグループの給食サービス及び外食部門も参加したいと考えた。
- ✓ さまざまなエビデンスを紹介していただけて勉強になった。
- ✓ 武見先生がお考えになられている未来への期待を感じることができ、また当社がどのように関わっていけるか明確になったため。
- ✓ 当社が取り組んでいる内容にもあてはめやすそうだったから。
- ✓ 判ってはいるものの日々の食事改善が大きな成果に結び付くことを認識した。
- ✓ 時間が短くて非常に残念。この点はエビデンス等含め、もっと聞きたかった。
- ✓ 一般の人にもわかりやすい指標であるため。

・ まあまあ役に立った：28(50.9)

- ✓ 基準が明確になったことを知れたから。

- ✓ 情報が得れたが、駆け足でもう少しゆっくり聞きたかった。
 - ✓ 実状が理解出来た。
 - ✓ じゃあどうすれば良いのか、わからない。
 - ✓ 社員食堂などでの経費節約は再考したい。
 - ✓ 食事の考え方の参考になった。
 - ✓ 豊富なデータに基づく情報により知見が深まったため。
 - ✓ 弊組合事業及び会員企業の活動に関連することについて想起することができた。
 - ✓ 途上国との関係性についてさらに深い議論を聞きたかった。
 - ✓ 対象者限定、条件付きでの普及という制約をどう緩和できるか考えていかなければならない。
- ・ **あまり役に立たなかった：1(1.8)**
 - ✓ 「健康経営」「SDGs」に関心があり参加したが、「食」がメインであったので少し違和感があった。
- 5.3 「健康経営の実践支援 ～内臓脂肪を測り、食環境で減らす～」について、適当な項目をお選びください。
- ・ **とても役に立った：26(47.3)**
 - ✓ 現在当社が進めていきたい方向性と合致していたから。
 - ✓ 抽象的な例えで説明するよりも、まず自分の体を使っての説明を聞いた方が、説得力があるため。
 - ✓ 内臓脂肪を減らす取組みが非常に熱心で、参考になった。
 - ✓ 内臓脂肪の測定、大変興味深かった。
 - ✓ 具体的説明でとても参考になった。
 - ✓ 弊組合事業及び会員企業の活動に関連することについて想起することができた。
 - ✓ 投資というところだけでなく、「医療費」がさがること、「健康休暇」を取る人が減ることなど、具体的な取り組みと成果が出ていて大変興味深かった。スマート和食については、「日本だからこそできること」に見える部分もありますが、途上国の食文化に会った形で、スマート XX のようなブランディング戦略で普及していくのも面白いと思った。
 - ✓ 成果を可視化出来ている。
 - ✓ 生活習慣病予防に興味があったから。
 - ✓ 我が国最大の生活日用品企業である花王さんの健康経営および健康経営の実践支援につき概要を知ることができたため。資料がきれいで見やすい。
 - ・ **まあまあ役に立った：25(45.5)**
 - ✓ 自分自身には役立った。
 - ✓ 数値結果を知ることで大きなきっかけとなることが良くわかった。
 - ✓ 産業医制度の中で行っているはんちゅうと見た。
 - ✓ 実際の社内での展開施策がとても参考になった。
 - ✓ 健康増進に役立つ。
 - ・ **あまり役に立たなかった：4(7.3)**
 - ✓ 既に知り得ている情報が多かったため。
 - ✓ ほとんど聞こえなかったので残念。
 - ✓ 発表者の声が小さく聞き取れなかった。
- 5.4 「健康経営推進における給食提供の位置づけ」について、適当な項目をお選びください。
- ・ **とても役に立った：11(20.0)**
 - ✓ 自分がクライアントに説明する時に役立つ。
 - ✓ 実際ミャンマーで給食をしている。毎日 1300 食以上。
 - ✓ 同業他社さんのリアルな現状を聞いて非常に参考になった。
 - ・ **まあまあ役に立った：38(69.1)**
 - ✓ 課題を持たれているところを教えてください、勉強になった。
 - ✓ 情報収集できた。
 - ✓ 弊組合事業及び会員企業の活動に関連することについて想起することができた。
 - ✓ 給食というシステムは日本独自のシステムの一つだと思う。お弁当などの途上国にも使える給食システムをつくり、そこにどう Ajust していくのが気になった。
 - ✓ 特殊な市場なので現状を知り得た。
 - ✓ 新たなビジネスの視点で大きくことができた。
 - ✓ シダックスさんの現場感あふれる給食事業の実際についての貴重なお話が伺えたため。
 - ✓ 個人では知識があってもコントロールが難しいが提供されると容易に改善が図れる。コストの問題があることも認識した。
 - ✓ 働き手のモチベーション維持。

- ・ あまり役に立たなかった：4(7.3)
✓ 資料がなかったので残念。
 - ・ 役に立たなかった：2(3.6)
✓ 「健康経営」「SDGs」に関心があり参加したが、「食」がメインであったので少し違和感があった。
✓ 健康経営とはの説明は不要だった。出席者のニーズを思量されていないように思った。
6. 現在の栄養改善事業に関する取り組みについて、該当する項目を1つ選択してください。
- ・ 現在、取り組んでいる：10(18.2)
✓ ヘルシーランチ提供、各事業場内での健康応援フェアの開催。
✓ 職場の栄養改善プロジェクト（カンボジア、インドネシア）。
✓ ヘルシーランチの提供、健康フェアの開催、など。
✓ 尿から栄養の過不足を評価する検査サービス「VitaNote」の展開。
✓ 特定保健指導、訪問栄養指導等。
 - ・ 取り組む準備を進めている：12(21.8)
✓ 病気になりにくいとは何かから取り組んでいる。
✓ 骨の健康度向上。
 - ・ 取り組もうと考えているが、まだ行動には至っていない：18(32.7)
 - ・ 取り組む予定はない：13(23.6)
 - ・ 以前、取り組んでいたが現在は取り組んでいない：2(3.6)
7. セミナーに参加して、栄養改善ビジネスへの取り組みについて、該当する項目を1つ選択してください。
- ・ 既存の取り組みに活かしたい。 16(29.1)
 - ・ 新規事業に取り組みたい。 9(16.4)
 - ・ 取り組みを検討したい。 24(43.6)
 - ・ 取り組む予定はない。 6(10.9)
8. 次回の栄養改善に関わるセミナーで、希望するテーマをご記入ください。
- ✓ スマートミール認定を受けた後の各社の動き。
 - ✓ 途上国を想定した食と栄養、健康、コミュニケーション、給食など。
 - ✓ 途上国・新興国の現状と今後の発展の度合いを知りたい。国内外の子供の貧困について。
 - ✓ 途上国におけるマルチセクターアプローチの実践例があれば是非お伺いしたい。
 - ✓ 特定保健指導、訪問栄養指導などの保健指導。
 - ✓ ヘルスリテラシーの向上。
 - ✓ 企業としての取り組みに関して、具体的な費用スキームなど教えていただけるような内容のセミナー。
 - ✓ 健康課題のターゲットの絞り方（疾病、地域等）、自治体との連携方法、健康課題解決と公表出来る条件。
 - ✓ 栄養学と食品安全。
 - ✓ 栄養サミットなどで日本が何を示していくことが重要かについて、また栄養指導の診療報酬のあるべき姿について。
 - ✓ 食材原料メーカーへの参入条件への取り組み等について、ニーズの内容等の提案があるようなもの。
9. NJPPP(栄養改善事業推進プラットフォーム)についてご存じでしたか。
- ・ はい 31(56.4)
 - ・ いいえ 24(43.6)
10. NJPPPへの加入について、適当な項目をお選びください。
- ・ 既に加入している。 13(23.6)
 - ・ ぜひ加入したい。 1(1.8)
 - ・ 前向きに加入を検討したい。 13(23.6)
 - ・ 加入するか迷っている。 4(7.3)
 - ・ 加入は検討していない。 24(43.6)

11. NJPPPについて今後期待する項目を全てお選びください。	
・ 栄養関連課題の情報提供(国別・栄養素別等)	31(56.4)
・ 栄養改善に必要な知識やスキル(栄養指導、栄養評価方法等)の提供	25(45.5)
・ プロジェクト実施報告	22(40.0)
・ ニーズに関する情報提供(対象国・関連企業等)	19(34.5)
・ NJPPP活動内容の紹介	15(27.3)
・ プロジェクト立案から採択までの流れと条件等の紹介	14(25.5)
・ ネットワーク作りのための場の提供	14(25.5)
・ 新規プロジェクト採択情報	12(21.8)
・ 企業・団体間のマッチング	11(20.0)
・ その他	3(5.5)
➤ 健康経営との関連セミナーがあればまた参加したい。	
➤ 途上国・新興国の現状と今後の発展の度合いを知りたい。	
➤ 国内外の子供の貧困について。	

12. ご質問・ご要望等ございましたら、ご記入ください。
- ✓ 実践事例の中からは得るモノが多いので、今後も業種を問わず、聞いてみたい。
 - ✓ 集まった人たちで意見交換ができるように懇談会も組み込んで頂きたい。

ご協力ありがとうございました。